

企画展

ミュシャを愛した日本人



2012年 11月 17日(土) ~ 2013年 3月 10日(日)

堺市立文化館 アルフونس・ミュシャ館

開館時間：9時30分～17時15分(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(休日の場合は開館)・休日の翌日(12月25日、1月15日、2月12日)・

展示替臨時休館日(12月11日、1月16・17日、2月13日)・年末年始(12月29日～1月4日)

文化力

同時開催：没後70年記念特別展「与謝野晶子と旅」2012年11月17日(土)～2013年1月14日(月・祝) 与謝野晶子文芸館

ミュシヤを愛した日本人

アール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシヤのポスター作品は、ほほリアルタイムで明治期の日本に紹介され、以来今日まで、「佛國裝飾画の大家ムツカ氏」の作品は多くの人に愛好されてきました。

日本人とミュシヤ作品の出会い、すなわちアール・ヌーヴォーとの出会いであり、その衝撃は黎明期にあった近代美術に広く影響します。黒田清輝、藤島武二や杉浦非水らは、西洋からもたらされたこの芸術思潮を糸口に、自らの方向性を模索しました。アール・ヌーヴォーに対する彼らの思いは様々でしたが、それぞれに感化され作品を収集、所有し、日本に紹介したことが知られています。そこにはミュシヤの作品も含まれていました。

本展覧会では、白馬会の活動の下、日本で展覧されたミュシヤのポスター作品を中心に紹介し、それらがどのように受容されていったのか、文芸誌『明星』などの雑誌や、書籍の装幀を例にご覧いただきます。また最後に、ミュシヤ作品をこよなく愛し、日本におけるその知名度向上に寄与したコレクター土居君雄氏についてもご紹介いたします。



- ① アルフォンス・ミュシヤ《サロン・ア・サン・ミュシヤ作品展》1897年 リトグラフ、紙
- ② アルフォンス・ミュシヤ《サラ・ベルナール》1896年 リトグラフ、紙
- ③ アルフォンス・ミュシヤ《ジュア》(1898年) 1898年 リトグラフ、紙
- ④ アルフォンス・ミュシヤ《トスカ》1899年 リトグラフ、紙
- ⑤ 一条成美《一筆書上》『明星』第7号誌面(複製版) 1900年 雑誌
- ⑥ 一条成美《MIYOJO》『明星』第9号臨時号誌面(複製版) 1900年 雑誌
- ⑦ 一条成美『明星』第6号表紙(複製版) 1900年 雑誌
- ⑧ 藤島武二『明星』第2号表紙(複製版) 1902年 雑誌
- ⑨ 藤島武二《第4回白馬会展ポスター》『明星』第11号誌面(複製版) 1901年 雑誌
- ⑩ 石川寛治《佛國裝飾画の大家ムツカ氏》『明星』辰年4号誌面(複製版) 1904年 雑誌



※イベント※

講演会「アール・ヌーヴォーと日本」

今井 美樹 氏(大阪工業大学 准教授)

日時：2013年2月16日(土) 14:00~15:30

会場：堺市立文化館 2Fギャラリー

定員：80名 参加費無料(要観覧券)

申込方法：参加希望者名・人数(1通の応募につき5名まで)・住所・電話番号を明記して、「展覧会イベント申込」と記載の上、下記までお申し込みください。

◎往復はがき(下記住所、堺市立文化館アルフォンス・ミュシヤ館宛)

◎ファックス(072-222-6833)

◎メール(mucha@sakai-bunshin.com)

観覧料：一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

※小学生未満・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料

※20人以上100人未満の団体は割引

※与謝野晶子文芸館もあわせてご観覧いただけます。

主催：公益財団法人 堺市文化振興財団

お問い合わせ：堺市立文化館 アルフォンス・ミュシヤ館

TEL:072-222-5533 URL: <http://mucha.sakai-bunshin.com/>

住所：〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200ベルマージュ堺式番館

交通：JR阪和線「堺市」駅下車徒歩約3分

JR快速にて◎大阪から約25分◎天王寺から約8分◎関西国際空港から約45分



※ミュージアムトーク※

12月9日(日)

2013年1月14日(月・祝)

2月10日(日)

3月2日(土)

各日14:00~(20分程度)

ミュシヤ館受付前集合

予約・参加費不要

(観覧料のみ別途要)

